

碧南市児童クラブ・児童センター・こどもプラザららくるにしばた・こどもプラザこころつくしんかわ指定管理者審査委員会 会議録

日時

令和5年7月27日（木）午後1時30分～午後3時15分まで

場所

碧南市役所2階 談話室1

出席者及び欠席者

- (1) 出席者 金沢宏治、渡辺顕一郎、小田直樹、深津邦江、永井民浩
杉浦英樹
- (2) 欠席者 伴野義雄
- (3) 事務局職員 福祉こども部長 深津広明、こども課長 鈴木美奈子
課長補佐 小林真代、主事 杉浦美幸
- (4) 指定管理者 碧南市社会福祉協議会事務局長 杉浦浩二、
課長補佐 池田貴文、主任児童専門員 杉浦かおり
主査 長南直美

傍聴者 0人

委員会の成立 委員定数過半数以上出席により成立

会議の公開 市HPで委員の氏名、選出機関・団体名、会議録に出欠席者
氏名、発言内容の要旨を公表する旨説明

議事進行 金沢委員長

議事の要旨

議題

(1) 児童クラブ

ア 令和4年度事業報告及び決算について

イ 令和5年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【A委員】 児童クラブの開所時間について、平日及び夏季休業中の開所時間について教えてほしい。児童クラブによって異なるのか。

【指定管理者】 児童クラブは全部同じ時間開所している。平日は学校終了後から19時まで、夏季は7時30分から19時まで。土曜日は8時から18時までとなっている。

【A委員】 支援員の資格について、65名の内、どれくらいが放課後児童支援員の資格を取得しているか。

【指定管理者】 半分以上は既に資格を取得しており、毎年新規で5～6人が研

修を受講している。

- 【A委員】 7クラブ全部で、放課後児童支援員の確保はできているか。
- 【指定管理者】 確保できている。
- 【A委員】 碧南市は弾力定員で児童の受入れを行っているという事だが、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準に定めるとおり、一の支援の単位を構成する児童の数をおおむね40人以下とするなどの基準どおり運営できているか。
- 【指定管理者】 児童の人数要件や面積要件など、基準通り運営できている。
- 【A委員】 研修について、放課後児童支援員研修のみでなく、児童発達支援ネットワーク研修も受講者が多くいると思うが、実際の現場での効果はどうか。発達障害の児童が増加している中で、研修受講の効果はどう表れているか。
- 【指定管理者】 発達の気になる児童は増加しており、加配対応もしているが、更に充足を考慮する必要があると感じている。また、発達支援ネットワーク研修等の参加は知識向上に繋がっていると感じている。
- 【B委員】 臨時職員の平均年齢はどれくらいか。
- 【指定管理者】 支援員の年齢層は幅広く、平均年齢は把握していないが、年々高齢化している。
- 【B委員】 支援員の定着率についてはどうか。
- 【指定管理者】 長い方が多く、そのため高齢化している面もある。若く新しい人材がなかなか増えていかない。
- 【委員長】 通所の状況について、令和5年度当初の通所希望は何人か。その傾向は、増加か、減少か、横ばいか。総数で教えて欲しい。
- 【指定管理者】 傾向としては増えている。今年度については、小学校4年生以上の入所はできないクラブもあるが、5月1日時点の待機児童はいない。
- 【事務局】 4月末の人数は742人である。
- 【A委員】 増加傾向という事は理解しているか。碧南市も出生数は減少しているが、それ以上に共働き世帯が急速に増加し、その結果需要が増加しているという理解で良いか。
- 【指定管理者】 指定管理者としてもそのように理解している。
- 【委員長】 先ほど支援員の充足や、待機児童という話があったが、4～6年生児童の入所条件を強めることで、1～3年生児童の入所に柔軟な対応をする考えはあるか。
- 【指定管理者】 そのような条件を盛り込むことはできると考えている。現在も

点数付けを行い選考しており、今後工夫することはできると考えている。

【委員長】 4月1日時点で弾力定員を超えているところはないという認識で良いか。

【指定管理者】 今年度で言えば半分程度超えた。残り半分は若干余裕があったが、例えば、西端の児童を大浜で通所受入れをすると伝えても、実際には通所につながらなかった。

【事務局】 現在児童クラブ通所選考基準表で、点数をつける際に学年により点数差はつけており、同様な就労条件であれば、学年の状況が点数に反映されるような選考をしている。

【委員長】 限られた施設や人員という中で受入れを行うのであれば、学年という条件を厳しくするしかないとも考える。

【C委員】 発達障害の児童に対する配慮はあるのか。

【指定管理者】 発達障害がある児童の入所を断るということはないが、支援員のサポートだけでは受入れが難しい場合は、発達の専門員や福祉課等と担当者会議で検討し、放課後デイサービスとの併用などに繋げている。

【B委員】 児童クラブ内でのスマートフォン利用はできるか。

【指定管理者】 持ち込みを許可していない。

【D委員】 支援員不足という話が出たが、支援員に大学生はいるか。

【指定管理者】 夏休みなどは、大学生アルバイトがいる。

【D委員】 平日の大学生アルバイトはいないのか。

【指定管理者】 皆無という訳ではないが、大学の授業等との兼ね合いにより、人数は少ない。

【D委員】 近くに大学がないという面もあるかもしれないが、自分自身大学時代に児童クラブでアルバイトをした経験があり、大学生にとっても有益と思う。

(2) 児童センター

ア 令和4年度事業報告及び決算について

イ 令和5年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【A委員】 子育て支援センター事業の資料だが、それぞれ(4)に利用者として親子や子どもの人数の記載があり、(5)支援センター

参加状況にも人数の記載があるが、(4)は支援センターの利用者の人数で、(5)は年間及び週間事業の参加人数という認識で良いか。(4)と(5)の人数の違いをどう理解したら良いか。

- 【指定管理者】 (4)は子育て支援センターの延べ利用人数で、(5)は年間行事と週間行事の参加延べ人数という整理で掲載している。
- 【A委員】 児童館は、片方は空調設備の故障により利用者が少なくなった、もう一方はコロナが落ち着いてきたので増えてきたということだが、子育て支援センターも同じ状況か。コロナ禍の子育て支援センター利用には入場制限や時間制限があり、利用しづらい状況があったと把握しているが、コロナが明けて本当に利用者が戻ってきているかどうか確認したい。ただでさえ家庭が孤立しやすい社会で、子育て支援センターが利用できなければ益々家庭が孤立していくと思われる。近年の虐待増加もコロナが一因になっていると指摘されており心配している。
- 【指定管理者】 一昨年度と比べると、棚尾は減り、東部は増えている。棚尾は子育て支援センターも1月間ほど空調故障の影響で一部屋が使用できなかったため、利用者が減となった。
- 【A委員】 子育て支援センターは保護者のマスクはどうしているか。
- 【指定管理者】 保護者の任意としている。
- 【A委員】 任意で良いと考える。発達心理学でもマスクは乳幼児の発達に影響が大きい。マスクはない方が良いと言われている。
- 【B委員】 東部児童センターは、中学生が453人、高校生が2人ということだが、学習目的で来所か。
- 【指定管理者】 小学校から来所していた児童が、中学生や高校生になり、懐かしさなどから来所する。
- 【B委員】 週に一度くらいの頻度で来ているのか。
- 【指定管理者】 頻度は把握していない。
- 【B委員】 地域と繋がることは良いこと。高校生は珍しいのではと思う。
- 【A委員】 児童福祉法に基づく児童福祉施設の中で、0～18歳まで使える施設は児童館しかない。国の方針やガイドラインでは、高校生まで利用できるような児童館を目指すべきとされている。虐待や非行のリスクのある児童の居場所としての機能が求められており、入り口としてなるべくハードルを設けず運営して欲しい。
- 【C委員】 児童センター内に中高生専用の部屋はあるか。年齢制限はある

のか。

【指定管理者】 専用の部屋はないが、絵本のある部屋に机があり学習はできる。
年齢制限はない。

(3) こどもプラザららくるにしばた

ア 令和4年度事業報告及び決算について

イ 令和5年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【B委員】 どうして高校生がこんなに多いのか。高校生が利用する部屋があるのか。

【指定管理者】 特徴として、音楽室があり中高生に人気がある。

【A委員】 サークル室は有料だが、どのような利用方法で、利用料金は。

【指定管理者】 学生については、学校から連絡があれば減免している。

【A委員】 減免というのは無料か。サークル室の利用が一番多いのか。

【指定管理者】 サークル室は会議で使われることが多い。料金は、9時30分～12時までが260円、12時～15時までが390円、15時～18時までも390円、18時～21時までが590円となっている。

【A委員】 サックスとか楽器はこどもが使っているのか。

【事務局】 こどもも使用しているし、こどもが一緒であれば大人も利用できる。

【A委員】 サークル室はどういう使い方をされているのか。圧倒的にサークル室の利用が多いが。

【指定管理者】 発表会や保育園の父母の会などで利用している。

【委員長】 有料の部屋ということで良いのか。無料の部屋は別にあるのか。

【指定管理者】 別に無料の部屋があるという事ではなく、有料の部屋を減免対象の方が利用したということ。

【A委員】 サークル室は有料で中高生が使うのではなく、実体として大人の方が多いということか。

【事務局】 子どもが関われば大人も利用できる。

【A委員】 実際大人の利用が多く、子どものみの利用はないのか。サークル室の利用率が高いので、利用者を具体的に知りたい。大人のみで利用できるようになってはいないか、子育て支援としての利用がきちんとされているか。

- 【委員長】 この施設は法的な位置づけはあるのか。
- 【事務局】 特に法的な位置づけはない。「碧南市こどもプラザららくるにしばたの設置及び管理に関する条例」により目的を定めている。
- 【A委員】 児童福祉法で定める児童福祉施設ではないが、碧南市の条例に定められているとおりの利用がされていけば良いが現状はどうか。
- 【指定管理者】 サークル室については、貸館をしており、令和4年度実績では月・水・金と学習塾が利用し、その他には書道教室等で利用している。貸館利用がない時は、来所児童が自由に遊べる卓球台を設置するなど大きい子たちのために自由に利用できる部屋としている。
- 【委員長】 学習塾等は有料貸出ということか。
- 【指定管理者】 有料で貸し出しを行っている。
- 【A委員】 67ページの注釈について、※12、※15及び※16は学生対象とあるが、対象が中学生及び高校生という事で良いか。
- 【指定管理者】 小学生に限らず、高校生までを対象にしているという意味。
- 【A委員】 実際、音楽室の利用は中高生が多いのか。
- 【指定管理者】 中高生が多いが、小学生も含め、ドラムを習いたい子ども達がドラム講師を招き音楽室で習っている。
- 【C委員】 ららくるにしばたは、非常に学校との連携が高く、地域としても安心できる施設と聞いている。
- 【指定管理者】 指定管理者としても、こどもの居場所として機能しており、学校との連携も図れていると認識している。
- 【B委員】 ららくるにしばたは、特色がある施設なので中高生が集まるのか。
- 【事務局】 立地条件により、市外在住の子どもが利用しやすい点もある。

(4) こどもプラザこころつくしんかわ

ア 令和4年度事業報告及び決算について

イ 令和5年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

- 【委員長】 こころつくしんかわも市外利用者が多いが何か理由があるのか。
- 【C委員】 休館日がずれているからではないか。

- 【指定管理者】 児童施設の休館日は意図的にずらし、利用しやすくしている。また、市外の施設は日曜日休館という所が多く、そのためか土日の市外利用者が多くなっている。
- 【A委員】 高浜市の利用者が多いのか。
- 【指定管理者】 高浜、西尾、安城市民が多いという認識がある。
- 【A委員】 こころつくしんかわは、障害児や就学前の子育て支援に力を入れているイメージがある。利用者全体の半数が乳幼児であるので、就学前児童の子育て支援施設という認識で良いか。
- 【指定管理者】 就学前児童に限らず、児童健全育成のための施設である。
- 【A委員】 利用者の傾向に地域的な要因はあるか。
- 【指定管理者】 地域的な要因というよりも、施設全体が遊び場のような設定になっており、中高生が集まりやすい施設というわけではないのが要因と思われる。
- 【B委員】 障害児の利用はあるか。
- 【指定管理者】 発達が気になる児童を連れた保護者の利用は多い。
- 【B委員】 それらの児童は、大きくなっても来所するか。
- 【指定管理者】 大きくなっても来所する方は少ない。そうした背景には、早い段階でしかるべき相談先に繋げ、適切な支援を行うことができる関係機関を紹介しているからと思われる。そのように、適切な支援を行うための関係機関に繋げる目的もある。
- 【A委員】 障害児関連だが、おもちゃ図書館の利用が年間延べ14人というのはかなり少ないと思うが、どうとらえているか。
- 【指定管理者】 コロナの影響で利用者を障害児に限定したため少なくなった。
- 【C委員】 あおぞらひろばでは利用しているが、それ以外の時は利用者が遠慮したということはあるのか。
- 【指定管理者】 そのような面もあると考える。
- 【A委員】 事業として稼働率が低い場合はどうしてなのかを考えるべき。年間延べ14人しか利用者がいない事業を継続する意味はあるのか、違う事業に変更するのか、工夫次第でもっと利用が増えるのかを分析する必要があると考える。障害児が増えてきている、気になる子が増えて現場が大変になっているというのであれば、もっと工夫すべき。率直に言っておもちゃ図書館のニーズは少ないのか。

- 【事務局】 平成30年度は372件の利用となっていた。
- 【A委員】 平成30年度は一般開放を行っていたからだと思うが、逆に一般開放をやめ制限をかけている今こそ、障害児を持つ保護者のニーズをあぶりだす結果になったと考えるべき。年間で延べ14人しか利用者がいない事業を継続する意味はあるのか、違う事業に変更するのか、工夫次第でもっと利用が増えるのかを分析する必要があると考えるが。
- 【指定管理者】 一度運用を確認し、ニーズも含め、今後の在り方を検討する。
- 【A委員】 発達に心配のあるこども達を、市全体として支える事を念頭に、今後の事業を検討してほしい。

(5) その他

- 【A委員】 今の少子化のスピードで言うと、保育のピークは令和7年度で、今後共働き家庭が増えても、保育の量は減っていくと言われている。そのような中で、どのようにして地域の中で子育てを進めていくか、また少子化を少しでも抑制できるかが課題であり、前向きな議論をして欲しいと考える。